



群馬県立富岡高等学校全日制広報紙

# 富高通信

6月号 R02.5.28発行

群馬県立富岡高等学校

群馬県富岡市七日市 1425-1

TEL 0274-63-0053

FAX 0274-62-2745

## 「まもなく学校再開！」

新型コロナウイルスの感染状況も少し落ち着いてきているのでしょうか。学校では6月1日の再開を目標に準備を進めています。当面は例年の通りというわけにはいかないと思いますが、感染に気をつけながら少しずつ日常を取り戻せるとよいですね。6月号は、先生方から学校再開に向けてのメッセージをいただきました。誰も経験したことのない状況です。平穏に過ごせる日々が戻ってくるまで、課題に立ち向かいみんなで知恵を出し合いながら解決策を模索していきましょう。

## 「学校再開に向けて」

校長 富田 忍

新型コロナウイルスの感染拡大対策として、新学期当初より臨時休業となっております。自宅待機が続いている生徒の皆さんには、学校からの課題に取り組みながら学習を進めていただいております。このような緊急事態で、各学年ともに心配や不安が募り、精神的にも苦痛な、堪える日々が続いているのではないのでしょうか。

しかし、昨年度末から続いた感染拡大状況もようやく落ち着いてきており、学校の再開が見えてきています。まずは学習活動が始まり友人とともに学ぶ楽しさを再認識するとともに、部活動ができるようになって、仲間とともに語り合える日を心待ちにしてください。

一日も早く生徒一人ひとりが生き生きと活動して、充実した高校生活を元気に過ごして欲しいと願っております。

## 「学校再開後の行事計画」

教務主任 中村 健一

長期間の臨時休業が終わり、ようやく学校が再開されることとなりました。この臨時休業期間中に、学校生活の尊さや授業の大切さを強く感じたことと思います。

学校再開後の行事計画ですが、6月1～5日に中間考査を実施する予定です。課題に取り組んだ成果を計り、また3年生の進路において重要となる1学期の成績を、期末考査1回だけで判断しないためです。

次に、密を防ぐための「午前登校」と「午後登校」といった分散登校になるため、それぞれ4時間ずつ一日8時限の授業編成とする予定です。

また、夏季休業開始を8月1日と遅らせ、それに合わせ、期末考査や三者面談期間を変更します。今後は、行事を精選し、中止を検討する必要もあります。

なるべく早く、学習の遅れや通常の学校生活を取り戻せるよう、可能な限り環境を整えていきたいと思います。生徒の皆さんは、健康に留意し、真摯に学校生活に取り組んでいってください。

## 「前代未聞のコロナ禍と今できること」

進路指導主事 池田 賢一

私も長く教員生活をしていますが、今年度のような事態は初めてです。大学・短大・専門学校・官公庁・民間企業も、未だに今後の対応をどうするか、明確な方針を示すことができていません。皆さんは、自分の望む進路を実現するため、高校に通っています。道筋が見えていても不安はあるのに、道筋が不透明とあってはいっそう不安が募っていることと思います。

今後、学校側からも、具体的な進路情報が入り次第連絡していきます。現在、皆さんができることは、授業と家庭学習をしっかりと行い、自力をつけることです。どのように状況が変わっても、身についた学力は、不変です。

## 「これからの学校生活へのお願い」

生徒指導主事 中野 光士

長い、長い、臨時休校でした。皆さんとても大変だったと思います。やっと学校が再開できます。改めて、「日常」のありがたさを感じましたね。一人一人がこの喜びを忘れずに、これからの学校生活を送りたいものです。そこで、2つお願いがあります。

### ① 「基本的な生活習慣を確立しよう。」

生活のリズムが乱れている人もいます。早寝、早起きを心がけ、規則正しい生活を取り戻しましょう。

### ② 「気配りと思いやりを忘れずに。」

3ヶ月続いた「個の生活」から「集団での生活」に戻ります。富高生全員が気持ちよく生活できるように、「気配りと思いやり」の気持ちを持って生活してください。

## 「学校再開に向けて保健部からお願い（今後の対応）」

養護教諭 西岡 広子

学校再開に向けて、本校では感染防止対策に取り組んでいきますが、生徒一人一人が、次のように対応してください。

### 1 登校前、登校時の対応

- 「毎朝、家庭で検温」を行い、37.0度以上の際は「自宅で休養」してください。平熱が低い場合や高い場合は、学校に相談してください。
- 平熱を確認した上で、37.0度未満であっても平熱より高い時や体調不良の時は、登校を控えてください。
- 「発熱や風邪症状」のある際は「登校しない」ようにしてください。その場合は、欠席ではなく、出席停止として扱います。
- 「登校時にはマスクを持参・着用」とともに、こまめな水分補給のために「飲み物を持参」してください。（自動販売機も使用できます。）
- 「校舎に入る前（玄関付近）での検温」教職員が非接触型体温計を用いて体温を測ることになります。その際、37.0度未満であっても、自分の平熱より高い場合や体調不良が見られる場合は、健康観察をしっかりと行い、保護者に連絡した上で「帰宅」させます。
- 自宅での検温結果や体調を「健康観察記録表に記入」し、登校時の検温の際に教職員に提出してください。
- 各教室に入る前に、手洗い及び手指のアルコール消毒を確実に行ってください。

### 2 学校生活における対応

#### (1) 手洗いの徹底

- 「休み時間ごとに手洗い」を行うようにしてください。また、不用意に手で顔を触れないようにするとともに、複数の人が触れる共用部分に触れた場合にも手洗いを実施するようにしてください。
- 休み時間の際「近距離での会話」や「大声での発声」等、を避けて行動してください。

#### (2) マスクの着用

- 登校時、玄関付近での検温の際、マスクの所持について確認します。もし家庭にマスクがない場合には、保護者の方に協力して頂き、マスクを作成してください。マスクがない生徒は、その場で、ハンカチ等を用いて、簡易マスクを作成するようにしてください。
- こまめな水分補給を行うようにしましょう（もし必要であれば、授業中にも水分補給を行うことを認めますので、授業担当の先生に申し出てください）。
- 体育などを除き、室内では、飛沫を飛ばさないよう常にマスクを着用してください。

## 「新たなスタートへ」

3 学年主任 大槻 恭子

ようやく学校再開を迎えることができ、うれしく思います。今は3年生にとっては、”待ったなし”の状況です。第一志望を確定させ、さらに、第二、第三志望と考えていく時期です。例年ならば3月頃からオープンキャンパスや大学合同説明会が開かれていましたが、残念ながら今年は多くが中止となっています。今年度はもともと大学入学共通テスト初年度という変化の年ですが、さらに新型コロナウイルスの影響で昨年とは大きく変わることが予想されます。そこで、3年生には各自情報収集に努めてもらいたいと思います。志望大学のwebページのチェックを欠かさないようにしてください。主体的な行動で、進路希望実現に向けて新たなスタートを切りましょう。

## 「フライングスタート！」

2 学年主任 三浦 昭久

3か月間という前代未聞の長期休校がようやく終わろうとしています。この間の出遅れは今後のことを考えるとたいへんな痛手です。

しかし、君たちはそんな中でもフライングスタートを切っています。課題が出されて家でやっていましたよね。決して順調なスタートとは言えませんが、この間に進めることができている。まあフライングですね。自習形式なので理解のほどが不安かもしれませんが、少なくとも対面式の通常の授業の時よりは、はるかに自分で考えて課題に向き合っていたはず。結果に出るといいな。

そういえばフライングスタートの本来の意味は「飛ぶような滑り出しの好調なスタート」なんだそうです。負けるな、富高2年生！

## 「こんにちは、早く会いたい！」

1 学年主任 田中 広一

入学直後から臨時休業となり、新しい高校生活を過ごせない寂しさを感じていることと思います。みなさんに会えることを1学年団全員、首を長くして待っていました。

高校生にとって一番大事なことは「自立」することです。中学校まではいい指導を受けてきたと思われます。高校生からは今まで学んできたことをすべて自分の意思で行ってください。そして、できないことは自分で解決していく努力をしてください。それが「自立」していくためには必要です。

高校生活は人生を決めます。いろいろなことに悩み、苦しんだ分だけみなさんは成長します。みなさんが大人になったときに社会で活躍できることを期待しています。

## 「今年度のPTA活動について」

渉外部長 島田 学

新型コロナウイルス感染症対策の一環で、PTA活動も県、関東、全国大会いずれも今年度は早々と中止が発表されました。本校におきましても、当初5月23日(土)にPTA総会を予定していましたが、延期か中止か、社会の状況を見極めながら検討しているところです。決まりましたら文書かメールでお知らせします。また、各クラスから2名選出された学年委員さんには、今後学年委員長や所属する専門委員会(生活、進路保健、広報)を決めていただくこととなります。その際には御協力くださいますよう宜しくお願いいたします。いずれにしましても、通常どおりになりましたら、例年同様各学年の学年PTAや担任との三者面談なども実施されます。是非とも学校へ足をお運びいただき、本校の教育活動を理解していただきますとともに、家庭と学校の緊密な連絡体制を確立し、ともに生徒の成長のために取り組んでいきたいと考えております。